



ネットで薬はもう買えない??

6月からインターネット上で医薬品販売の約70%が消える

世の中にはそこら中に“薬局”というよりは所謂“ドラッグストア”ができており、インターネットでも薬局にいくのと同様に医薬品を購入する事ができます。しかし、今年の6月1日より「薬事法の一部を改正する法律」により、インターネット上では従来の70%程度の医薬品が購入できなくなります。これは厚生労働省の「薬販売は対面によるものが原則」という理由によるものですが日本には183市町村に薬局がなく、その人達から郵送での医薬品販売を規制する事により、遠地の薬局まで行かなければ医薬品を購入できなくなってしまう恐れがある他、「単に厚生労働省の天下り先を守りたいだけじゃないか」という声も多く、楽天などでは3/2時点で72万件超の反対署名を集めています。インターネットによる医薬品販売が「利益追及により無法状態」という訳でもなくケンコードットコムでは、専門の薬剤師による電話やメールでの質問に答えたり、一般的でない数量の購入を制限したりと、努力もしているようです。にも関わらず深夜になると、医薬品販売の知識が全くないバイトしかいなくなる事も多いコンビニの方が、多種にわたる医薬品を販売できるのはおかしいという話です。

	第一類 ガスター10など	第二类 葛根湯など	第三類 イソジンなど
薬剤師がいる薬局	○	○	○
薬剤師もしくは登録販売者がいるコンビニ	×	○	○
薬剤師もしくは登録販売者がいる通信販売	×	×	○

更にはこれは法律ではなく、厚生労働省が発令した省令であり、今回の省令は憲法に定められた国民の権利を大幅に制限するものであり、省令自体が違憲であるという可能性も指摘されています。この省令について議論した「民間の有識者」とされている人達のほとんどは厚生労働省の天下り先になっている組織に所属している訳で何か大義名分とは異なるモノが見え隠れします。6/1まで注目して見守りたいですね！

ごあいさつ

春です!! 桜です!!!
私は花粉症が酷くて、中でもひのき花粉が天敵です。この季節は地獄のようですがそれでも春は明るい気分になりますね。まだ少し肌寒い日もありますが、4月の桜に5月の新緑とキレイなものをたくさん見れる季節なのでウキウキしますね!

倉橋 勇樹

連載企画

“一丁啮”が行く! 第15回: マイレージサービス

前回、飛行機のチケットレスサービスのことを書きました。ANAに限らずJALでも同様のサービスを行っています。団体搭乗などは二次元コードすらない単なるプリントアウトの紙が“搭乗券”だという。ホントにけったいな時代になったもんです。昔人間の私なんかはやはり“切符”がないとどうも不安です。

そういえば、新幹線でもチケットレスサービスが始まっていますね。ICOCAやPiTaPaのように改札機にかざすだけで乗れるという。予約はもちろんインターネットからExpress予約。パソコンや携帯電話から簡単に予約できて、予約した列車が発車するまでは何度でも変更が無料でできるExpress予約の便利さは大満足しながら享受しているのですが、やはりチケットレスには抵抗感がありますね。ICOCAやPiTaPaのような近距離の利用と違って、新幹線や飛行機など遠距離の移動にはチケットを持って行きたいと思うのは歳のせいでしょうかね。

ところで、チケットレスサービスと並んで、ITを活用したサービスとしてマイレージがありますよね。新幹線のExpress予約でも一定のポイントが溜まれば普通車料金でグリーン車に乗れるというサービスをしています。

このマイレージのようなポイントサービスの構築には莫大な情報化投資が必要なんです。ですから莫大な情報化投資をする余力のない航空会社（具体的にはスカイマークエアラインですが）ではマイレージサービスをせずに格安搭乗料金で勝負しています。皆さんは、付加サービスなしの低料金か、付加サービス付きの通常料金か。どちら派です？

ホームページは <http://www.sysport.co.jp> または【シスポート】で検索!!!

第三回

パソコンのお勉強!!

特集

チラシの意味が分かるようになる為のパソコンの部品を解説します

今回で最後になるパソコンの部品のお話ですが、今日はCPUについてお話します。CPUには下のように色々な種類がありまして似たような名前ですが、性能は大きく違います。IntelとAMDの差は作っているメーカーの差で、豊田か本田か?みたいなもんです。一般的にIntelの方がブランドとしてメジャーで、価格も少しだけ高いと言われていました。

Intel

Core 2 Duo (2006年から登場、高性能型 CPU、現在の主流)
Celeron (CeleronD、CeleronM) (1998年から登場、廉価型 CPU)
Pentium Dual-Core (2007年から登場、廉価型 CPU)
Celeron Dual-Core (2008年から登場、廉価型 CPU)
Atom (2008年から登場、小型パソコン、およびモバイル用 CPU)

AMD

Athlon 64 X2 (2005年から登場、高性能型 CPU)
Athlon X2 (2007年から登場、高性能型 CPU)
Duron、Sempron (2000年、2004年から登場、廉価型 CPU)
Athlon LE (2007年から登場、新型の廉価版 CPU)
Turion (2005年から登場、ノートパソコン用の CPU)

グラフィックボード

映像や画像を処理する為のパーツで高性能な程、画像・映像処理や3Dゲームなどをスムーズに動かす事が可能になります。グラフィックボードの性能が低いといくらCPUやメモリの性能が高くても上記の処理をスムーズに行う事はできません。

最近の安価なパソコンのほとんどは【オンボードグラフィック機能】と言ってマザーボードに最低限の機能を持ったグラフィックボードを組み込んであるものが多いです。

パソコンをインターネットやメールにのみ使う人にはあまり関係のないパーツとも言えます。

チップセット

集積回路の事で人間でいうと神経のようなものでして、地味ですが性能を大きく左右する重要なパーツです。メーカー同士の相性など、詳しくないと簡単に交換できるようなものではなく、あまりなじみはありませんが、パソコンが好きな方にはこだわる方もいらっしゃると思います。

電源

高性能なCPUやグラフィックボードは通常より電力が必要でハードディスクを増設すれば当然電力もそれだけ多くなります。そんな時に電源をパワーアップさせる事があります。

わかりやすい!

難しい用語を使わない! T講座 電車もオバマもつまらない!

Vol.14

去年の夏までと現在を比べると随分と景気も後退して世の中は様変わりしました。

景気が悪くなると会社は何を絞るでしょうか? テレビでは人間を削減する話ばかり目につきますが、絞るのはそれだけではありません。普段から電車に乗る方は感じていらっしゃると思いますが、広告が全然ないんですよ。JRや私鉄などを見ても明らかに中吊り広告の数が激減しています。あったとしてもJRや私鉄会社が運営している旅行プランなど自社の宣伝広告か、消費者金融の広告くらいで、見ていると楽しくありません。宣伝広告というのは、決して安いものではないのに絶大な効果がすぐに期待できる訳でもなく、なかなか難しいのだろうと思います。知り合いのインターネットを利用した広告代理店を経営している方が「営業利益が去年の10分の1程度まで落ち込んだ」と嘆いていたのが印象的で、寒いのは自動車や製造業だけではないんだなあと感じました。

話は変わって・・・

イエス! ウィーキャン! のオバマ政権は従来の小さな政府から、大量の国債を発行し、公共事業をたくさんして地方にも国のお金を落とすという、過去に日本が「国民総中流家庭」と謳って実行してきたような大きな政府を目指しています。富裕層への増税なども政策にあります。また「自分の国のモノを買って、よその国の商品は買わない」事を国が法律で決めてしまうという【ブロック経済】に近いような政策も打ちたてています。内需拡大と言えば聞こえは良いですがWTO(世界貿易機関)の条約に反していると各国から猛反発を受けています。 ※バイ・アメリカン条項 これは日本のような輸出依存の企業からすると、たまったものではありませんね。

とにもかくにも、まさに私たちが想像する【アメリカ】からは程遠く、グローバルで強くて開かれた印象を全く感じない、保守的で殻に閉じこもったアメリカになろうとしています。

そして発行しまくった多額のアメリカ国債を買ってくれるような、都合の良い国の筆頭候補としていつも通り日本が選ばれている訳で、最初に麻生総理をアメリカへ招いたりした訳です。前クリントン政権というか民主党はアジア政策の中で、中国を厚遇して日本をそっこのけにする傾向がありまして、オバマ大統領も当初はそのような事をスピーチでも話していたので、日本にとっては「マケイン氏が率いる共和党の方が良いのではないか?」と言われていたのですが、結果的には国債を買ってもらわないといけなかったのだからアメリカの日本厚遇は続きそうです。

現状では難しいのかもしれませんがいつかは「モノ言える強い日本」になりたいですね! 窮屈な電車の中で、唯一の暇つぶしである色とりどりの広告が復活し、アメリカ国債を買われる心配をする必要がなくなるまでには、まだもう少しかかりそうですね。

[発信元] シスポー株式会社

〒610-0361 京都府京田辺市河原平田23-16

TEL (0774)-63-1131 FAX (0774)-63-1130

e-mail info@sysport.co.jp

HomePage http://www.sysport.co.jp

ホームページは <http://www.sysport.co.jp> または【シスポー】で検索!!!